



卓 球 部

■ 1928年(昭和3年)公認

部員数

39名



部長
仲道 祐樹
社会科学総合学院
教授

昨年100周年を迎えた卓球部ですが、101年目のシーズンも無事に終えることができました。春のリーグ戦では男子が4位、女子が5位に終わりましたが、秋のリーグ戦では、女子が優勝を飾り、男子も4位と健闘しました。また、全日本大学総合選手権大会では、シングルスで濱田一輝選手が優勝、男子ダブルスでも濱田一輝・徳田幹太組が優勝しました。部員たちが安心して競技に向き合うことができ、成績をあげることができるのも、ご家族のみならず、卓球部OBOGのみならずははじめとした様々な方のご支援があってこそです。引き続き、早稲田大学卓球部にご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます。



男子部門監督
本橋 道直

2025年は4年生の濱田一輝、3年生の徳田を中心にチームを組み、リーグ戦優勝、インカレ優勝を目指しました。リーグ戦については春4位、秋4位と優勝は逃しましたがインカレにおいては準優勝、全日本総合団体(社会人を含めたチーム日本一を決める大会)において優勝まであと一本と迫る準優勝を果たしました。さらに全日本学生では濱田一輝がシングルス・ダブルス(徳田とペア)で優勝し2冠を達成しました。また、3年生の舟山がアジアパラ選手権で優勝し、世界ランク1位になりました。男子部にとって非常に実り多い年となりました。卓球部を応援してくださった大学関係者の皆さま、OBOGの皆様、ご家族の皆様、多くのご様に感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



主 将
濱田 一輝
スポーツ科学部
愛工大名電

早稲田大学卓球部で過ごした4年間は私の宝物です。素晴らしい仲間、監督、コーチ、OB、OGの皆様を支えられながら4年間活動することができました。振り返ればあっという間の4年間でしたが、その中には心動かされる瞬間が数え切れないくらいあり、非常に濃密な時間を過ごすことができました。仲間と共有した楽しかった時間、悔しかった時間、何気ない日常を一生忘れることはありません。チームとして戦うことの素晴らしさを感じた4年間でした。早稲田大学卓球部で過ごした4年間を誇りに、これからはOBとして後輩たちの活動を陰ながら応援しています。本当にありがとうございました。



主 務
中島 爽太
スポーツ科学部
茗溪学園

4年間支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。「早稲田大学卓球部」は自分にとっては夢のような場所であり、その規律ある、厳しい環境が私を大きく成長させてくれました。それを耐えうることができたことも仲間、監督、コーチそして、家族のおかげです。4年間卓球に打ち込む生活をする事ができ、自分は幸せ者です。最後の年は優勝を成し遂げることはできませんでしたが、インカレ2位という貴重な経験は一生の思い出です。そして、頼れる先輩達が再び栄冠に輝くことを楽しみにしながら、社会人生活も頑張りたいと思います。皆様ありがとうございました。



女子部門監督
岩村 健司

今年度、女子卓球部は秋のリーグ戦で6年ぶりに優勝することができました。チーム全員で勝ち取った優勝ですが、その中でも立役者は四年生の深谷、宮脇の二人でした。二人とも高校時代の成績は全国的なものはないですが、負けても負けず、笑顔を保ちながらコツコツ努力して最後に大きな花を咲かせてくれました。早稲田大学卓球部の良い伝統を最後のリーグ戦で体現してくれました。昨年、卓球部は創立100周年を迎え、次の100年に向けて走り出しましたが、チーム全体に明るい勇気をもたらしてくれました。新体制となり、主将の司を中心として早稲田らしく一人一人が自律したチームを作っています。最後に、いつも卓球部を支えてくださっている大学関係者の皆様、OBOGの皆様、ご家族の皆様にご感謝申し上げます。



女子部門主将
深谷 和花
スポーツ科学部
瑞穂

卒業にあたり、4年間支えてくださったすべての皆様にご心より感謝申し上げます。多くの方々のお力添えのおかげで、かけがえのない日々を過ごすことができました。主将として活動を始めた当初は、歴代の主将に比べ実績の面で不安もありましたが、信じてついてきてくれる後輩たちや、共に高め合える同期の存在に支えられ、最後まで走り抜くことができました。特に、最後の秋季関東学生リーグで9シーズンぶりに優勝を果たせたことは、一生の思い出です。この4年間で得た経験と仲間との絆を胸に、感謝の気持ちを忘れず、今後の人生もより一層精進してまいります。一卒業生の立場になりますが、後輩の皆さんのさらなる活躍を心より願っています。



女子部門主務
神保 来実
教育学部
金沢二水

本年度、私は初めてリーグ戦で優勝を経験することができました。私は中高時代、卓球部に所属し選手をしていましたが、決して強い選手ではありませんでした。そんな私が、自分の力だけでは決して見ることのできなかった景色を、選手の皆さんのおかげで見ることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。特に、今回卒業される4年生の皆さんには最も長くお世話になりました。いつも周りを気遣い、優しく、そして強く、心から尊敬していました。その4年生がいなくなるのはとても寂しいですが、これからは自分が最上級生として、チームを「裏方」から支え、誰からも愛されるチームづくりに尽力していきたいと思っています。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

◇関東学生新人選手権大会 (4月24日～26日)

女子シングルス
▷第3位 小野蒼彩(スポ科・1年)

◇春季関東学生卓球リーグ戦 (5月15日～17日、25日～26日)

男子団体
▷第4位
女子団体
▷第5位

◇第82回早慶卓球定期戦 (6月15日)

男子団体
▷優勝 7勝2敗
女子団体
▷優勝 5勝2敗

◇関東学生選手権 (6月26日～28日)

男子ダブルス
▷優勝 濱田一輝・徳田幹太(スポ科4年・3年)
女子シングルス
▷第3位 司千莉(スポ科・2年)

◇第94回全日本大学総合卓球選手権大会 (7月3日～6日)

男子団体
▷優勝
女子団体
▷ベスト16

◇第17回関東学生チームカップ (8月18日～19日)

女子Aチーム
▷ベスト4

◇秋季関東学生卓球リーグ戦 (9月10日～12日、17日～18日)

女子団体

▷優勝
男子団体
▷第4位

◇WTT コンテンドーブエノスアイレス (7月22日～27日)

男子ダブルス
▷優勝 濱田一輝・小林広夢(TT埼玉)

◇WTT スターコンテンドーフォズドイグアス2025 (7月29日～8月3日)

男子シングルス
▷ベスト8 濱田一輝

◇第91回全日本大学総合卓球選手権大会個人部 (10月21日～24日)

男子シングルス
▷優勝 濱田一輝(スポ科4年)

男子ダブルス
▷優勝 濱田一輝・徳田幹太(スポ科4年・3年)

◇第21回全日本選抜卓球選手権大会 (11月21日～23日)

男子シングルス
▷ベスト4 濱田尚人(社学2年)

◇WTT チャイナスマッシュ (9月28日～10月5日)

男子シングルス
▷ベスト16 濱田一輝(スポ科4年)

◇第17回全日本パラ卓球選手権大会 (9月26日～28日)

男子シングルス
▷優勝 舟山真弘(文学部3年)

◇ITTF アジアパラ選手権大会 (10月14日～19日)

男子シングルス
▷優勝 舟山真弘(文学部3年)

